

特35

745

三條大意

教園番兩著

全

館書圖京東	
函 = 一	門 新
架 =	部 〇一
號 四四四四	類 二

萩園雷雨著

三條大意

全

許 免 權 版

明治十年
七月發兌

共立堂梓

三條大意

條教ノ大槩ヲ
述ス故ニ名ク

權少教正

萩園雷雨 述

叙レテ曰ク大凡ソ父母ノ子ニ
於ケル教育ヲ思フノミ
皇上ノ億兆ニ於ケル何ソ他ア
ン三條教憲者兆民ヲ教育セシ

三條大意

大意

條教ノ大槩ヲ述ス故ニ名ク

權少教正

教園雷雨述

叙レテ曰ク大凡ソ父母ノ子ニ於ケル教育ヲ思フノミ
皇上ノ億兆ニ於ケル何ソ他ア
ン三條教憲者兆民ヲ教育セシ

ムル政教ナリ我カ輩忝クモ教
 職ノ命ヲ奉ス善クセスンハア
 ルヘカラス遂ニ孤陋ヲ忘レテ
 聊カ愚言ヲ述ス意諸賢ニ呈露
 シテ可否ヲ乞フ耳于時明治十
 年六月

三條

三條ノ二字者政教ノ總目ナリ
 教義解シ難シ譬ヲ條ニ借ル夫
 レ玉琢カサレハ器ヲ成サス人
 學ハサレハ道ヲ知ラス何ソ禽
 獸ニ異ナラン我レ聞ク民ハ國
 ノ本ナリ寧口禽獸ヲ以テスヘ

ケン乎コ、ヲ以テ古ノ王者國
ヲ建テ民ニ君タル必ス教學ヲ
先トス

今上皇帝一新ノ佳晨ニ當ラセラ
レ大政官下ニ八省ヲ分チ各一
政ヲ為サメシム今コノ三條者
教部ノ為サムル所民ニ天理ノ

本性ヲ教ヘ人ヲシテ人々ラシ
ムル所以ナリ猶ヲ樹ヲ植ユル
能ク其ノ性ヲ知り其ノ地ニ培
植スル寸ハ樹年々ニ生育シ條
歳々ニ繁茂シテ疎通疎條シテ
樹能ク樹タルカ如シ教學モ亦
爾カリ兆民ニ能ク本性ノ天理

三條大意
三
ヲ教へ明ニ知ラレノ明ニ行ナハ
シムル寸ハ静性年々ニ生育シ
徳歳々ニ盛大ニシテ人能ク人
タルニ至ルコト等ノ義状ヲ顯
ハサンカ為メ法譬兼舉シ總計
シテ名トス學タル本性ヲ得レ
ハ復タ外無シ政教ノ盡クセル

潛心熟思シテ慎シテ聞キ一二
奉遵セスニハアルヘカラス

第一條

已下三條別分シテ教へ以テ本
性ノ玉ヲ琢カシム發端分正教
分布教分ヲ謂フ又叙分正說分
流通分ト稱スヘシ第ト者居ナ

リ一ト者首ナリ兆民ノ徳ニ入
 ル敬神愛國ヨリ先ナルハ無シ
 故ニ端ヲコ、ニ發ヒテ第一トス
 敬神愛國ノ旨ヲ体スヘキ事
 三條文ニ体格アリ俱ニ二法ヲ
 以テ對ス詩人ノ所謂流水對ノ
 法ニ似タリコノ際節アリ歸要

アツテ横豎相ヒ織リ布教ヲ指
 揮セリ又條々正意アリ結アリ
 今第一條ノ中神祖ノ聖徳ヲ崇
 敬シ瑞穂ノ化育ヲ保愛スルヲ
 以テ對ス己上横意神祖ノ聖徳
 ニ浴シテ本ヲ立シメントナリ
 横豎相織リ先後關鎖スル其ノ

狀畧見ツヘシ中ニ於テ上ノ七
 字ハコレ正意下ノ一字ハコレ
 結正意ノ中事アリ旨アリ禮ヲ
 竭クシテ聖神ノ德ヲ崇敬シ心
 ヲ用ヒテ瑞穂ノ化育ヲ保愛ス
 ルハ事ナリ聖神ノ德ニ浴スル
 心ヲ以テ身ヲ脩サメ本ヲ立ツ

ルハ旨ナリ二義一ヲ歎ケハ則
 非ナリ故ニ敬神愛國ノ旨ヲ体
 セシム事ヤ脩メスンハアルヘ
 カラス旨ヤ体セスンハアルヘ
 カラス体ト者体認体達ノ義巧
 ニ達スルノ辭ナリ人多ク身軀
 ノ義トス不得意ノ甚シキナリ

結語ノ事字体事ヲ義トス勸誠
ノ意ヲ含ム曰ク條体ヲ得ン
ヲ結勸ニ條体ヲ失ナハン
ヲ結誠ス條々皆ナ爾カリ余人ノ
敬愛ノ説ヲ聞クニ多ク四神等
ノ諸神者但々皇國ノ太祖タル
ヲ以テ崇敬スヘキヲ説ク偶聖

神ノ徳ヲ崇敬スト説ク寸ハ則
檢査課難シテ曰ク若シ凡庸ナ
ラハ祖先ト雖モ崇敬セサル耶
等ト云フ説者難ヲ承テ茫然タ
リ余ヲ以テコレヲ意フニ難答
俱ニ不得意ニシテ唯意ニ任セ
テ説キ意ニ任セテ難ス曾テ條

教ノ文理ヲ知ラサレハナリ祖
 先ヲ敬スルハ世ノ通義ナリ何
 ソ舍ツヘケン神徳ヲ敬スルハ
 異教ニ對スル今ノ別義ナリ二
 義相存シテ相舍テス意聖徳ニ
 浴スル稍重シ故ニ敬神ト謂テ敬
 祖ト謂ハス況ヤ第二條ノ中殊

ニ天理人道ヲ明ニセシム夫レ
 聖神ノ徳ヲ崇敬シ其ノ徳ニ浴
 スルニ非スンハ何ヲ以テ天理
 人道ヲ明ニスルトヲ得ン通義
 ヲ舍スシテ別義ヲ重ンスルト
 ヲ顯セリ胡為レソ粗漫ニ説キ
 去テ教義盡サ、ル耶自カヲ善

セスレテ何ソ他ヲ教ユルヲ
 為ン又人多ク富國強兵ヲ以テ
 愛國ヲ説ク夫レ富國強兵者本
 ト太平ニ亂ヲ忌ルサル備ヘナ
 リ本ヲ立テ、徳ニ入ラシムル
 ノ教ヘニ非ス况ヤ兵ハ凶器已
 ムヲ得サル事ナルヲ乎意フニ

コレ等ノ説ハ未タ三條ノ大義
 ヲ知ラサルノ致ス所ノ之

第二條

第一條端ヲ敬愛ニ發ヒテ已ニ
 本ヲ立テシム故ニコノ條次ヒ
 テ天理人道ヲ明ニスルヲ教ヘ
 玉ヘリ所謂本立テ道生ルノ義

ナリ標目ニ於テ預メ知ルヘシ
天理人道ヲ明ニスヘキ事

天ト者巔ナリ尊ムヘク貴ムヘ
キ名ナリ人固有ノ人タルヘキ
静性ヲ尊ソ貴ムテ稱シテ天理
ト謂フナリ天理ニ照準シテ行
フコレヲ人道ト謂フ天理人道

ハ性ト行トノ異ニシテ其ノ法
別アルニ非ラス明ニ知リ明ニ
行フテ天覆フヒ地載セ上下和
樂シテ化育スルハコレ三才無
窮ノ靈徳ナリ 後醍醐帝御詠
ニ國治リ民安カレト思フコソ
朕力身ニツキ又思ヒナリケリ

ト蓋シコレコノミコ、口ナラ
 ン余案スルニ天理人道ヲ行フ
 大ニ二別アリ終カニ倫常ノ分
 ヲ失ナハス禽獸ニ異ナルヲ限
 トスルアリ天理ノ際ヲ窮メテ
 天ニ繼ヒテ極ヲ立ツルアリコ
 ノ二ノ中間階差心ヲ以テ知ル

ヘシ但タシ天ニ繼ヒテ極ヲ立
 ツルハ至聖ノ境界ニシテ其ノ
 大測ルヘカラス其ノ靈窺フヘ
 カラス其ノ富其ノ貴得テ説キ
 カタシ庸愚忘リニ其ノ有無ヲ
 測リ忘リニ無ニ歸シテ教ヲ廢
 シ縱逸スルハコレ古今世ノ習

ニノ其レ即庸愚タル所以ナリ
 庸愚古今絶ヘス至聖寧ソ無力
 ラン政教天ニ繼ヒテ極ヲ立テ
 玉フ是レ其ノ明証ナリ兆民之
 レニ照準セスンハ何ソ國ノ本
 タラン明ニスヘキノ二字宜シ
 ク肝ニ銘スヘシ日本紀ニ媾事

二天理ヲ説玉ヒ禮ノ學記二人
 生レテ静ナル人欲ノ動搖之レ
 ヲ天理トセリコレヲノ二説ハ
 俱ニ常人ヲ教ユル天理人道ナ
 リ若シ帝綱本紀ニ神者正直ヲ
 家トスト説キ易ニ上天ノ事ハ
 音モ無ク香モ無ク至レル哉ト

謂ヒ仙經ニ第一義天ノ理ヲ説ク等都テコレ至聖ノ天理人道ナリ今コノ三條者億兆ヲ教育シテ人々ヲシムルノ政教ナリ義兩種ニ通スヘシ生レテ人々ルコノ道ヲ聞クノ外復タ有ルヲ無シ語ニ且ニ道ヲ聞テタ々ニ

死ス氏可ナリトハ蓋シコレコノ謂ヒ乎

第三條

億兆ニ教ユヘキ已ニ了レリ故ニ今結シテ布教ヲ命シ玉フコレ其ノ次第ノ標目ナリ漫ニ讀過スヘカラス

皇上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵守令ムヘ
キ事

八省各為サムル所アリ俱ニ
皇上ニ出ツル朝旨ノ政タリ今
コノ三條ノ中前ノ二條ハ正シ
ク教部ノ為サムル所ニ億兆
ヲシテ身ヲ脩メ徳ニ入ラシム

ルノ道ナリ故ニ第三條結テ布
教ヲ命シ奉遵セシムヘシトナ
リ前ノ二條ノ政教ヲ布ヒテ歸
向セシムルコレ即 皇上ヲ奉
戴シ朝旨ヲ遵守セシムルナリ
コノ外別ニ奉遵セシムヘキア
ルニ非ス人コノ意ヲ得ス別ニ

説ク進テハ布教ノ命ヲ失ナヒ
且ツ教部八省ヲ統攝スルノ失
ヲ招クヘシ退テハ前ノ二條
皇上朝旨ニ非ルノ過ヲ成ス進
退得ル所無シ謂ツヘシ粗漫ノ
至リト余不敏ヲ省セスコヽ二
評説ス請フ無禮ノ罪ヲ恕セヨ

三條大意畢

版權免許

明治十年
六月十四日

定價拾三錢五厘

京都府平民

權少教正

著述者

萩園雷雨

下京第拾五區林下町付籍
一心院住職

京都府平民

出版人

小林菊三郎

當時上京第世區葺持寺町
七拾二番地寄留

發賣人

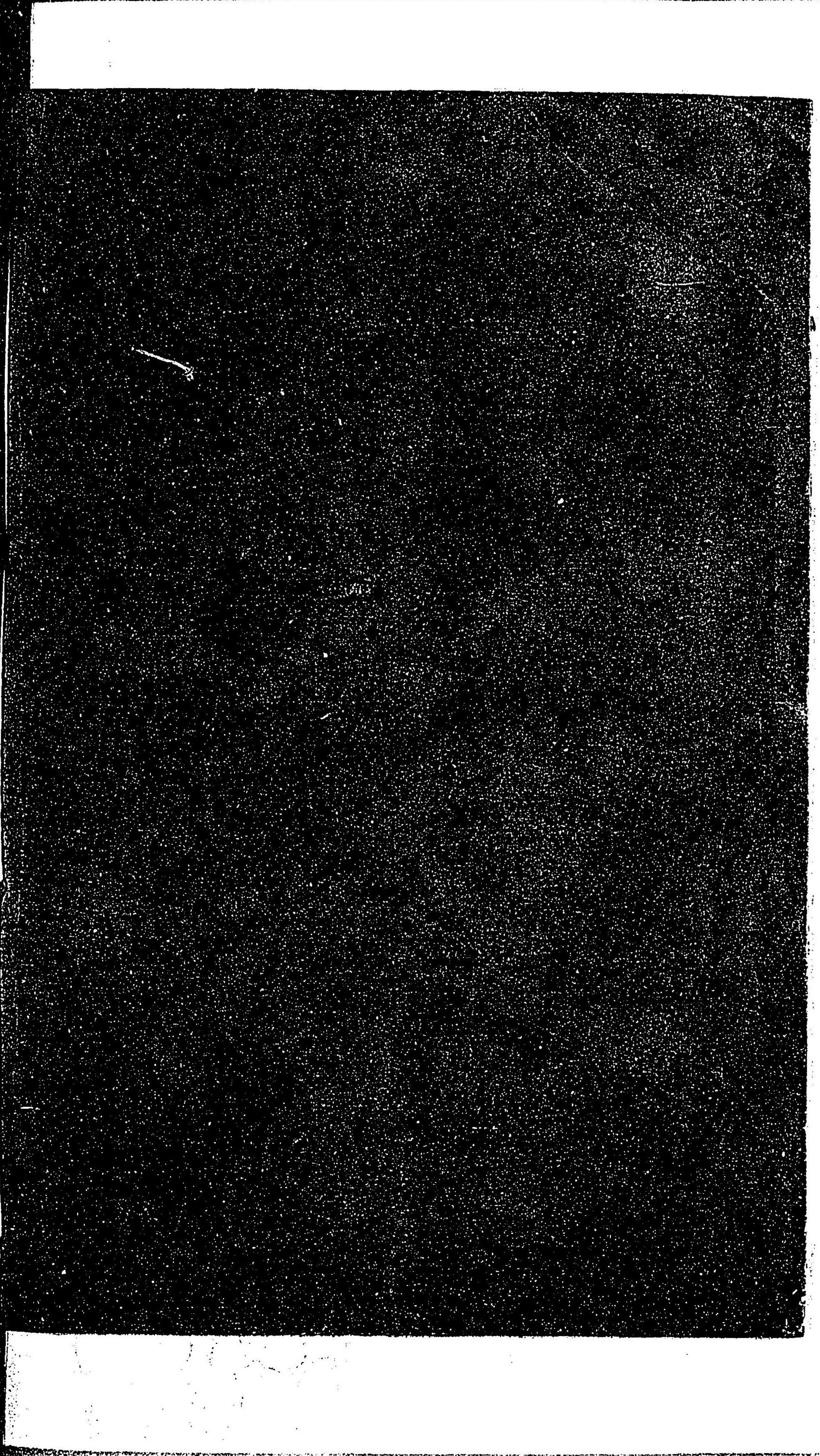
西京

出雲寺文次郎

書林

同

高橋松影堂



特 35
745

東 京 圖 書 館
新 門
部 〇 一
類 二
架 二
函 二 一
號

014090-000-2

特 35-745

三条大意

萩園 雷雨/著

M10

ABB-0350

